

文芸図書愛好会



我々、文芸図書愛好会は機関紙の発刊を主とした活動を行っています。

機関紙は年四回発行しており、ひとつの機関紙に十作品前後を掲載しています。普段は各図書館に無料配布という形で設置させていただいていますが、学園祭では販売も行っています。ジャンルにはこだわらず純文学からミステリー小説、恋愛小説など。さらには短歌や俳句、エッセイ、コラムに至るまで様々な作品を掲載しています。

文芸図書には大学生になってから小説を書き始めた会員も多く、まだまだ拙い作品ばかりですが、みな精力的に活動しており貪欲な向上心をもったツワモノばかりです。

週に一回行われている集まりでは各々が作品を持ち寄り、みなで検討会を行うなどして作品の質を高める努力を怠りません。時には熱くなり激論を交わすこともあります。それも作品に対する作者・会員の情熱のゆえに。仲間であると同時に読者であるということを忘れず切磋琢磨しています。

同時に読者であるということを忘れず切磋琢磨しています。

また外に向けた活動のひとつとして、文芸図書では年に一回、文学賞への投稿を活動としています。内部に留まっているだけではなく、第三者からの指摘を糧とし、努力を重ねることを忘れないために行っている活動の一環です。

そして、ついに一人の会員が出版社の佳作に入賞することができました。小さな賞であるかもしれませんが、我々にとっては非常に大きな一歩だと感じるとともに、入賞できなかった会員たちも自分たちのことのように喜んだことを覚えています。

この愛好会は発足してからまだ一年と半年しか経っておりませんがやる気に満ち溢れた仲間たちと、精一杯作品を作っていきたいと思っています。

図書館から：図書の移動とコーナーの新設について

◆ 11号館 I コーナーについて



今年度の夏期休業中に11号館2階・3階の和図書のうち、比較的利用頻度の低い図書を、11号館1階“Iコーナー”（分類番号 409 ～ 586.5）に移動しました。

図書の背に灰色Iシールが貼ってあります。

この書架の近くには、A、D、E、F、G、H、Jコーナー等があります。OPACで表示された所在と請求記号を紙に書いてから、図書を探してください。